

株主の皆様へ

第20期報告書

2012年10月1日～2013年9月30日

証券コード：3814

企業理念



アルファクス・フード・システムは、「食文化の発展に情報システムで貢献する」ことを経営理念に、私たちが提唱する「食材ロスカット」「人件費ロスカット」を実現させる開発方針のもと、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しています。

社名の「アルファクス」とは、ギリシャ語で、物事の始まりを意味する「α」と、限りない可能性を秘めた「X」を結びつけた造語です。ご提案するソリューションの最初から最後まで、責任をもって取り組ませていただくという私たちの姿勢を示すものです。

この社名に、フードサービス業界専門の情報システム企業として、お客様と共に、業界発展のお手伝いをしたいという熱い思いを込めています。



外食チェーン情報システム「ソフト」から「ハード」までの主要3事業

ASPサービス事業

外食企業様に対して、売上分析・経営指標・在庫ロス分析・勤怠シフト管理・受発注・C K物流・財務連動システムまでの各基幹業務システムをご提供しています。

システム機器事業

外食企業様の本部系基幹業務の精度を高めるために必要な店舗システム機器である「POSシステム」及び「オーダーエントリーシステム」の自社開発を行なっています。

周辺サービス事業

外食企業様向け「ワンストップサービス」の一環として、外食関連の広範囲なWEBサービスのご提供や、システム機器などの保守・メンテナンスを行なっています。

アルファクス・フード・システムは、創業以来一貫して、食材／人件費ロス管理を中心とした、経営コストのロスを徹底追求することのできる「基幹業務システム・サービス」の提供を行なっています。

そして、外食チェーン企業の情報システムインフラ企業となることを目指しております。

株主の皆様へ



第20期 株式会社アルファクス・フード・システムは、 予定より早く、新型「テーブルショット」の 市場投入を実施致しました。

代表取締役社長 田村隆盛

これからも、外食専門システムのリーディングカンパニーとして お客様ニーズにあった新製品・新サービスをいち早くお届けします。

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2013年9月期（第20期）におけるわが国経済は、新たな経済・金融政策に対する期待感から、株価上昇、一部の個人消費及び企業業績の回復感も見られたもの、引き続きヨーロッパ・中国・米国経済の減速などの影響を受け、国内景気は依然として先行き不透明な状況が続いており、個人消費の低迷は継続しております。

また、今期は新政権による政策の一貫で円安誘導となりましたが、当社が今期投入致しました新製品のシステム機器新型「テーブルショット」の部品調達時期と重なり、収支におけるインパクトは大きく、厳しい1年となりました。

同時に、年々大型化しております、システム機器関係の受注後納品が、円安による部品高の影響等も重なり、計置計画の期ズレが一部で発生し、結果、予算には及びませんでした。

今期の配当につきましては、営業キャッシュフローは黒字を確保したものの、営業利益、経常利益共に赤字となりましたことから、誠に遺憾ながら、株主様への期末配当につきましては見送らせていただくことと致しました。

主力の「ASP基幹業務サービス事業」におきましては、震災以降、月額報酬の減少が続いておりましたが、今期、震災前の水準に回復し、来期は引き続き販売好調の続くシステム機器の納品先を中心に、主力のASP基幹業務サービス拡大を目指してまいります。

外食業界を取り巻く環境は、年々厳しさを増しておりますが、本格的に市場投入しております「FOODα5000」と、「オーダーショット（ハンディショット）」、今期予定より早く投入致しました新型「テーブルショット」の販売競争力が強く、更に当社は、これまでのロスを徹底追及できる「基幹業務システム」に加えて、各種販売促進・集客支援サービスを含めた外食統合データベースサービス「FOOD GENESIS」を発売、既存のお客様へのバージョンアップも実施しておりますが、こちらの販売、評価も順調に推移しております。

当社は、国内で唯一、「店舗情報システム機器」と「本部基幹情報システム」の両方を1社で手掛ける外食専門の情報システム・サービス会社で、ロス削減による最大利益確保とコストパフォーマンスにおきましては、25年以上に亘り高い評価をいただいております。

これからも謙虚さと誠実さを忘れず、お客様の声を第一に、外食業界の情報システムインフラになるよう、製品・サービスの向上に努め、株主・投資家の皆様のご期待にお応えしてゆく所存でございます。

今後とも一層のご支援ご指導の程、宜しく願い申し上げます。

新製品

外食産業の新しいマーケット「セルフオーダー」市場に 圧倒的な見やすさと使いやすさを実現した 新型「 FOOD GENESIS21 テーブルショット」を投入致しました。

急激な円安を背景とした食材費の高騰、目前に迫った消費税率のアップなどにより、飲食店では、コストの見直しが最重要課題です。更に、外食産業の人手不足は深刻で、アルバイトがなかなか集まらないという状況となっております。その人手不足や、人件費削減等が、接客にまで影響してしまい、長期的な売上減につながってしまったというお店も少なくありません。

そのような状況下で、人手不足の改善・サービス向上及び売上アップを可能とする切り札として、お客様が自らオーダーするセルフオーダー端末が外食業界において大きな注目を集めております。

発売から6年目を迎えた当社のセルフオーダー端末「テーブルショット」は、大手外食チェーンでの導入により、ハード、ソフト、サポート面も成熟した製品となりました。当社としても、現在のマーケットニーズの高まりを好機と捉え、今期、他社に先駆けて、新型、最先端のスペックのAndroid版「テーブルショット」を予定より早く発売開始致しました。一から業界専用に設計を行なったため、安定感、操作性に優れており、これまでの導入実績によるノウハウを結集させた、圧倒的なユーザビリティを誇ります。

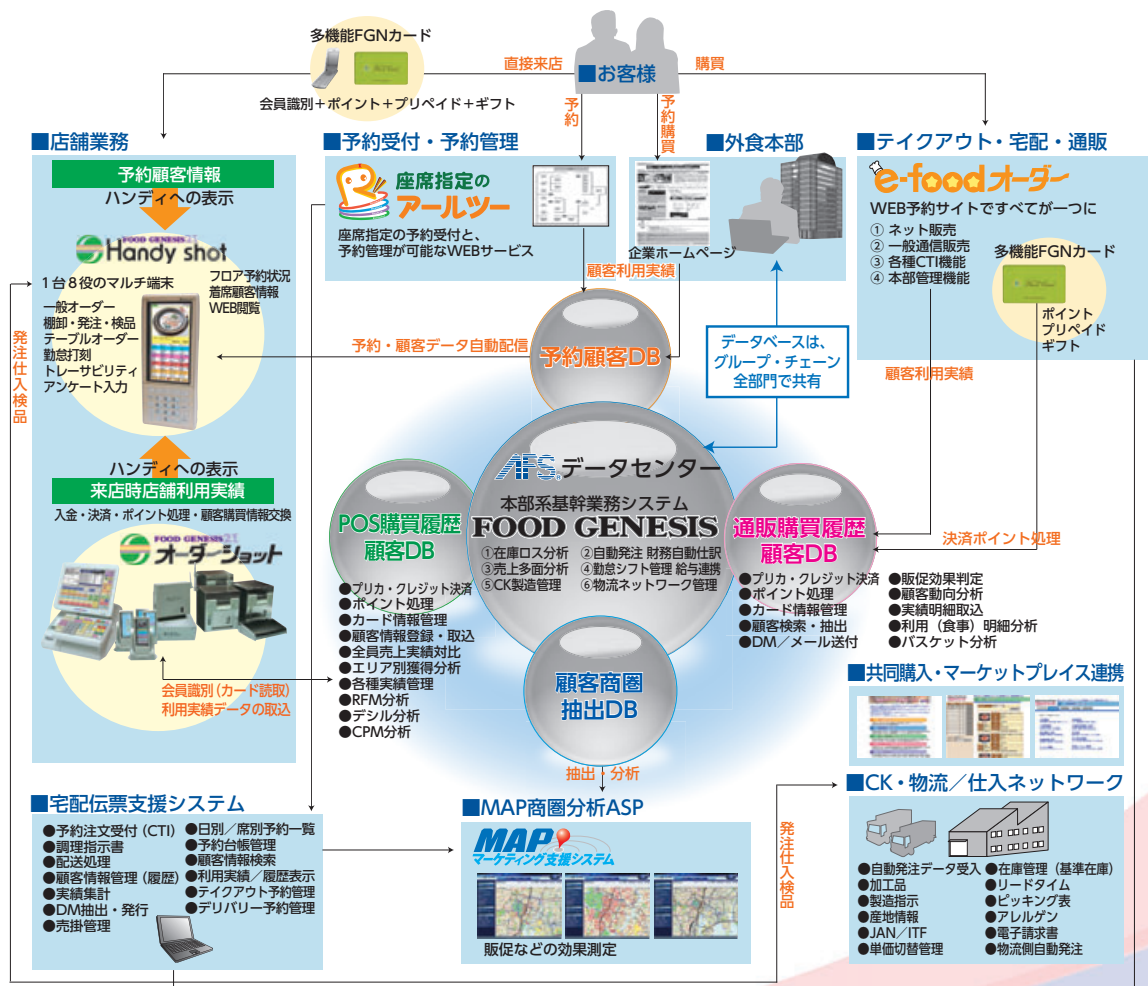
今後、多くの業種・業態においてセルフオーダー端末は浸透し、市場規模の拡大が予測されることから、POSシステム、オーダーエントリーシステムなど、その他の機器との複合的なシステム導入へとつながる可能性も高い「テーブルショット」が、今後のシステム機器事業拡大の、大きな商材となることが期待できるものと確信しております。



主な特徴

- 鮮明な画像：どの席からも見える高精細、広視野角
- クリアな音声：前面スピーカ採用でより鮮明な音声
- 感覚的な操作を可能に：フリック・スクロール等
- 素早いレスポンス：ネイティブ型ソフトで素早い動作
- Android OSを採用：今後の機能拡張にも対応可能
- 非接触充電：接点故障の心配無用、清掃も簡単
- バッテリー交換が可能：本体の買い替え不要
- 強化ガラス：タッチパネルに強化ガラスを採用
- 安心のソフトウェア：端末、OSなども当社が管理
- 安定供給と長期保守：国内で設計・組立なので安心

店舗システム機器／基幹業務システム／WEB集客支援サービスを 1社で手掛ける、AFS[®]ならではの業界初の周辺統一元管理 サービスです。



事業概要

AFS最大の強みは、『店舗情報システム機器』から『本部系基幹業務システム』を1社で手掛けられること。そして、**外食企業様の業務を完全自動連動させ、ロス削減による最大利益確保を実現できること**です。

大手外食チェーン企業にとって、二大原価（食材／人件費）削減から本来あるべき利益を確保していくことは最重要課題であり、店舗展開を行なう上で、その重要度は更に増していきます。しかし、これを実現することは極めて困難で、店舗、本部、CK、複数の外部取引先とのシステム完全連動に加え、異業態の混在や、業務サイクル、コンプライアンス、オペレーションの徹底等、様々な課題をクリアしなければなりません。

このような多岐に亘る課題、複雑なシステム構築においてもすべてAFS 1社のみで手掛け、ロス削減による最大利益確保を実現できることが当社の強みであり、他社が追従できない所以です。



事業の概況

経営成績

売上高		0.9%DOWN
第19期	第20期	
1,856 百万円	1,838 百万円	

営業利益		—%
第19期	第20期	
23 百万円	34 百万円	

経常利益		—%
第19期	第20期	
10 百万円	46 百万円	

当期純利益		—%
第19期	第20期	
△17 百万円	△39 百万円	

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策及び日銀の金融政策に対する期待感から企業業績が緩やかながらも改善に向かい始めている一方で、円安による物価上昇、新興国及び中国経済の減速懸念等により国内景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

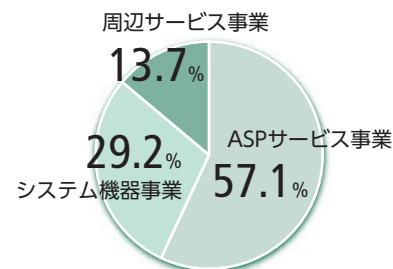
当社の主要販売先である外食産業におきましては、引き続き消費者の節約志向は強く、顧客獲得競争は更に激しさを増しております。また、円安による輸入食材価格の高騰等により、当社の事業領域において厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、大手外食チェーンを中心に、従来からのASPサービス、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダー等のシステム機器を中心とした販売活動に加え、生活防衛意識の高まりにより、消費者志向が変化していることへ対応するべく顧客情報サービスに注力してまいりました。

その結果、ASPサービス事業及びシステム機器事業の新規受注を獲得したものの、一部受注の長期化及び月額サービスへの寄与に一定の時間を要すること等により、売上高は1,838,901千円（前事業年度比0.9%減）となりました。

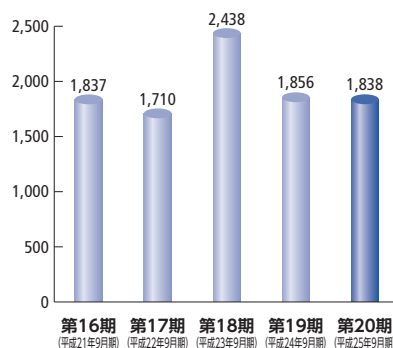
利益面に関しましても、受注の長期化及びデータセンターの強化等により、営業損失34,143千円（前事業年度は営業利益23,942千円）、経常損失46,831千円（前事業年度は経常利益10,389千円）、当期純損失39,037千円（前事業年度は当期純損失17,975千円）となりました。

事業別売上高構成比率（第20期）



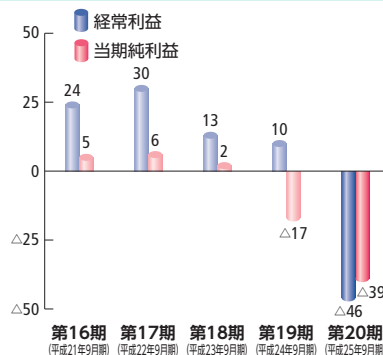
売上高

(単位：百万円)



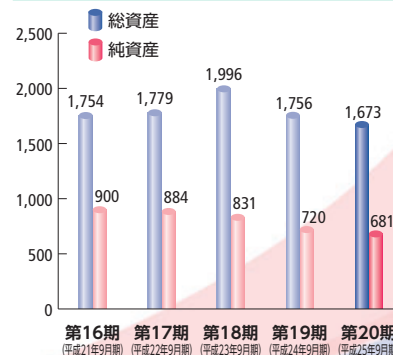
経常利益・当期純利益

(単位：百万円)



総資産・純資産

(単位：百万円)



財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度 (平成25年9月30日現在)	前事業年度 (平成24年9月30日現在)	科 目	当事業年度 (平成25年9月30日現在)	前事業年度 (平成24年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	1,203,277	1,278,021	流動負債	873,317	908,976
現金及び預金	449,877	522,720	買掛金	93,843	64,179
売掛金	240,067	282,952	短期借入金	611,000	561,000
商品	446,717	414,914	1年内償還予定の社債	74,000	60,000
貯蔵品	15,337	14,895	1年内返済予定の長期借入金	—	100,000
前払費用	22,200	24,433	未払金	12,351	21,899
繰延税金資産	30,265	16,776	未払費用	9,850	9,181
未収入金	625	2,742	未払法人税等	2,812	18,098
その他	1,110	2,161	預り金	9,617	13,793
貸倒引当金	△ 2,925	△ 3,575	前受金	42,110	36,978
固定資産	466,898	474,149	賞与引当金	14,962	14,417
有形固定資産	197,458	231,135	その他	2,768	9,428
建物	10,612	12,240	固定負債	118,677	127,039
車両運搬具	0	0	社債	99,000	110,000
工具、器具及び備品	127,213	184,342	退職給付引当金	19,677	17,039
土地	20,429	20,429	負債合計	991,995	1,036,016
建設仮勘定	39,203	14,123	純資産の部		
無形固定資産	82,557	31,211	株主資本	681,645	720,682
ソフトウェア	80,112	28,765	資本金	537,862	537,862
電話加入権	2,445	2,445	資本剰余金	143,599	143,599
投資その他の資産	186,881	211,803	利益剰余金	248,423	287,460
出資金	151	145	自己株式	△ 248,239	△ 248,239
長期前払費用	101,883	103,564	評価・換算差額等	△ 5	△ 66
敷金及び保証金	20,012	20,138	その他有価証券評価差額金	△ 5	△ 66
繰延税金資産	24,367	27,730	純資産合計	681,640	720,615
長期未収入金	52,305	82,446	負債純資産合計	1,673,635	1,756,631
その他	14,768	14,420			
貸倒引当金	△ 26,608	△ 36,644			
繰延資産	3,459	4,460			
社債発行費	3,459	4,460			
資産合計	1,673,635	1,756,631			

損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	(平成24年10月1日から 平成25年9月30日まで)	(平成23年10月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高	1,838,901	1,856,228
売上原価	1,286,576	1,258,172
売上総利益	552,324	598,055
販売費及び一般管理費	586,467	574,112
営業利益又は営業損失(△)	△ 34,143	23,942
営業外収益	624	844
営業外費用	13,312	14,398
経常利益又は経常損失(△)	△ 46,831	10,389
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△ 46,831	10,389
法人税、住民税及び事業税	2,372	16,580
法人税等調整額	△ 10,166	11,784
法人税等合計	△ 7,794	28,365
当期純損失(△)	△ 39,037	△ 17,975

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	(平成24年10月1日から 平成25年9月30日まで)	(平成23年10月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,305	15,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 108,224	△ 19,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 47,923	△ 141,212
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 78,842	△ 144,650
現金及び現金同等物の期首残高	500,220	644,871
現金及び現金同等物の期末残高	421,377	500,220

株主資本等変動計算書

当事業年度 (平成24年10月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等		純資産計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本計	その他有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計
		資本準備金	資本剰余金	本剰余金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金計					
平成24年10月1日 残高	537,862	143,599	143,599	287,460	287,460	△ 248,239	720,682	△ 66	△ 66	720,615	
事業年度中の変動額											
当期純損失				△ 39,037	△ 39,037		△ 39,037			△ 39,037	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)								61	61	61	
事業年度中の変動額合計	-	-	-	△ 39,037	△ 39,037	-	△ 39,037	61	61	△ 38,975	
平成25年9月30日 残高	537,862	143,599	143,599	248,423	248,423	△ 248,239	681,645	△ 5	△ 5	681,640	

会社概要・株式の状況

■会社概要 (平成25年9月30日現在)

社名	株式会社アルファクス・フード・システム (ALPHAX FOOD SYSTEM CO., LTD.)
創業	平成5年12月9日
資本金	5億3,786万2,408円
代表者	代表取締役社長 田村隆盛
事業内容	外食企業向け 1.ASP方式による各種イントラネット基幹業務サービス 2.システム機器の企画・販売 3.ハードウェア・ソフトウェアの全国メンテナンスサービス 4.Webによる業界専用ポータルサイト (外食総合eマーケットプレイス)の運営・提供
本社	〒756-0039 山口県山陽小野田市千崎128番地 TEL(0836)39-5151(大代表) FAX(0836)39-6448
データセンター	〒755-0052 山口県宇部市西本町二丁目14番30号
従業員数	105名

■役員一覧 (平成25年12月26日現在)

代表取締役社長	田村隆盛
取締役	宇多田純三
取締役	松崎常男
取締役	福田省吾
取締役	河原克樹
常勤監査役	溝部和昭
監査役	古閑謙士
監査役	堀江義光

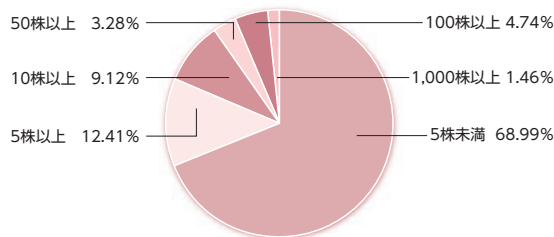
■株式の状況 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	91,704株
発行済株式の総数	25,138株
株主数	274名
大株主	

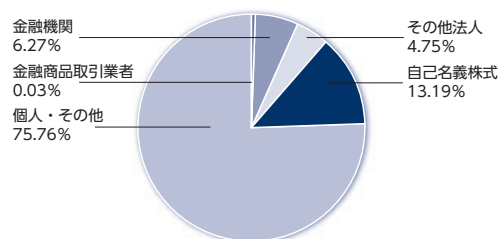
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
田村隆盛	12,115	55.5
鎌田英哉	4,500	20.6
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	1,242	5.7
株式会社アルゴコミュニケーションズ	375	1.7
特定有価証券信託受託者ソシエテジェネラル信託銀行株式会社	293	1.3
田村隆次	164	0.8
田村清隆	150	0.7
株式会社T B グループ	150	0.7
木山貴英	147	0.7
株式会社アールツー	144	0.7

(注) 1. 当社は、自己株式を3,315株保有しておりますが、上記大株主からは控除しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有株式数別株主数比率



■所有者別株式数比率



アルファクス・フード・システムの主要製品

全国の外食産業 **6,270**[※] 店で活躍しています!

※ASP契約店舗数を含む



FOOD GENESIS 21
Handy shot

複数の店舗業務をカバーするマルチ多機能端末

入力端末となる「ハンディショット」は、1台8役（一般オーダー、棚卸、発注、検品、テーブルオーダー、勤怠打刻、トレーサビリティ、アンケート入力）をこなすマルチ多機能端末です。



FOOD GENESIS 21
オーダーショット

「オーダーショット」は、マルチ多機能端末「ハンディショット」をはじめ、店舗でのオーダー業務に最も重要視される操作性、レスポンス、メンテナンス性という基本性能を従来のもより飛躍的にレベルアップさせ、オーダーエントリーシステムの新時代を切り拓きました。これからも「オーダーショット」は、新しい可能性の追求と共により一層、製品の充実を図ってまいります。

業界初の縦置き横置き兼用で、ファミレスからファーストフードまであらゆる業態に対応!

20年以上に亘るPOSシステムのノウハウが結集した最新型フードビジネス専用PC-POSシステムです。

FOOD & 5000



FOOD GENESIS 21
テーブルショット



人件費を抑え、オーダー効率を上げるフードサービス専用のテーブルオーダーシステム。大手回転寿司からファミリーレストラン、焼肉店、居酒屋など、幅広く導入されています。

株主メモ

事業年度
定時株主総会
上記基準日
剰余金の配当基準日
株主名簿管理人
同連絡先

10月1日から翌年9月30日まで
事業年度終了後3カ月以内
9月30日
毎年9月30日及び中間配当の支払いを行なう時は3月31日
三菱UFJ信託銀行株式会社
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711（通話料無料）

公告方法

電子公告により行ないます。
但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行ないます。
なお、電子公告を掲載する当社ホームページアドレスは以下のとおりです。
<http://www.afs.co.jp/>

株主の皆様へ当社の各種情報を提供する
ホームページを開設しています。
<http://www.afs.co.jp/>

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリース、新製品に関することなど、様々な情報を提供しています。



—— 食文化の発展に情報システムで貢献する ——
株式会社 **アルファクス・フード・システム**

〒756-0039 山口県山陽小野田市千崎128番地
TEL (0836) 39-5151 (大代表) FAX (0836) 39-6448



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。